

## 第6期宮前区区民会議 第4回（仮称）地域活性部会 【摘録】

**日 時：**平成28年12月2日（金）18:00～20:00

**場 所：**宮前区役所4階 第1会議室

**出席委員（敬称略）：**佐藤、川田、影山、荒川、老門（泰）、大木、黒澤、田辺、山田、山部（10名）

**欠席委員：**0名

**傍聴人：**0名

**資 料：**次第

資料1 第6期宮前区区民会議委員名簿

資料2 第6期審議スケジュール案

資料3 こまじいのうち視察メモ

その他 第3回地域活性部会摘録（案）

外出支援（移動サービス）担い手研修チラシ（老門委員より）

### ■ 議題

#### **1 こまじいのうち視察まとめ（公開）**

11月17日に行われたこまじいのうち視察について、資料3のメモを使い説明を行った。  
（事務局・小西）

- ・ こまじいのうちで稼働予定のシェアオフィスは非常に参考になりそうだ。今後の議論に活かしたい。（山田委員）
- ・ 宮前区と文京区とでは、地理・文化・環境など、違いがあり、そのまま宮前区に当てはめるのは難しいのではないか。（山部委員）

#### **2 第3回地域活性部会の振り返り（公開）** …第3回地域活性部会摘録（案）

- ・ 「若い世代の巻き込み」が軸
- ・ 地域還元、地域とのつながりづくりがカギ

#### **3 審議テーマ・ターゲットの絞り込みに向けた討議（公開）**

※主な意見、その整理は次ページ以降参照。

#### **4 今後の予定（公開）**

- ・ 第2回企画部会（委員長・副委員長・部会長のみ）：12月22日（木）18時～
- ・ 第4回全体会：平成29年1月13日（金）18時～

## 専門部会の審議テーマ・ターゲット

### 若い世代（20～40代）がターゲット

- ・地域課題を考える時取りこぼされがち、地域との接点が少ない世代

### 異業種交流 → 地元でお仕事受注

- ・異業種交流から地域活性化、地域還元につなげる
- ・地元受注→クライアントと細かいすり合わせができる強味
- ・地域資源の活用や異業種コラボなど

### 隠れた知識・技能を持つ人材の発掘 → クラフト市の開催など

- ・宮前区らしいクラフト市＝個性を発揮する場
- ・隠れた人材、区内の様々な活動の発掘・紹介・情報発信（宮前まちクラブの取組など）

## 「若い世代の声」を、直接聞こう

### 聞きたいこと

- ・地域への要望、地域とのつながり
- ・いきなり地域参加を尋ねても警戒？
- ・地域での女性の活躍
- ・クラフト市開催に向けた意見・要望

### ターゲットの設定・声かけ方法

- ・アンケート調査→課題・仮説設定が先
- ・区民会議委員の人脈から
- ・青年会議所、商工会議所、ロータリークラブ、タウンニュースなど

## 区民会議フォーラムの企画に向けて

- ・「地域でお友達づくり・お仕事づくり」がテーマ（もしくはサブテーマ）
- ・何か「ものづくり」している人、「教えられる」人を集める
- ・男性も集めるが、特に女性を意識して集める。

※各意見の詳細その他は次ページ以降参照

## ■ターゲットは「若い世代」= 20~40代

- ・ 地域の課題を話し合う時、取りこぼされてしまいがちな若い世代（=現役世代）に焦点を当てたい（佐藤部会長）
- ・ 現役世代の活性化は地域の活性化につながるだろう。（川田委員長）
- ・ 若い世代を取り込もうという動きはいろいろな所にあるが、なかなかうまくいっていない。若い部会長を中心に新しい事が考えられると良い。（川田部会長）
- ・ まちづくり協議会への現役世代の参加者で多いのは、建築家、フルタイムではない女性、農家などだ。会社員はなかなか参加できない。（田辺委員）
- ・ 日中地域にいて活動している人をターゲットに活性化を考えてはどうか。（川田委員長）
- ・ 何歳くらいの世代を想定しているのか？なぜその世代を取り込みたいのか？（田辺委員）
- ・ 20代~40代、社会人として生活をしている人のイメージだ。（川田委員長）
- ・ 被益者と貢献者、課題など設定しないと話が進みにくい。（田辺委員）

## ■異業種交流、地元での受注につなげる

- ・ イラストレーターとして仕事をしているが、意外に地元からの依頼は来ない。異業種交流会などを通じて、地元で得意先を作ることができれば良い。（佐藤部会長）
- ・ ネットがあるのだから、地元で得意先を見つける必要はないのではないか？（田辺委員）
- ・ 仕様等の細かい確認・調整などクライアントと直接会ってやり取りできる強みは大きい。「お仕事紹介」は若い世代を地域に惹きつける魅力になり得るだろう。（佐藤委員）
- ・ 「いろいろな形で事業をしている人同士の交流が無いから活性化していない」という仮説があるならばそれもテーマになりうるだろう。（田辺委員）

## ■クラフト市・人材の発掘など

- ・ 「宮前区らしいクラフト市」（個性を発揮する場）が出来れば良い。（老門委員）
- ・ 主婦だが実は美大卒、といったような隠れた人材も地域にはいるだろう。（佐藤部会長）
- ・ 区内には様々な人材が眠っている。（山部委員）
- ・ 地元こんな人がいたんだ！と気づき、一過性でなく、その後につながるように。（佐藤部会長）
- ・ 宮前まち倶楽部が「ひと」に焦点を当て、区内で色々なことをやっている人を紹介する取り組みを行っている。団体と団体をつなぐことを目標としている。（田辺委員）
- ・ 「宮前の資源（人・モノ・技術）」埋もれた能力を持つ人を発掘したい。（黒澤委員）
- ・ 宮前まちクラブは今の所はネットからの情報発信に留まっているようだ。うまく巻き込んでいけないか。（老門委員）

## ■若い世代を集める方法

- ・ 興味を持ってくれる人をどうやって探すかが課題だ。区民会議委員の口コミなどになる

か？（佐藤部会長）

- ・ ネットなども人材探しに活用したいが、どのくらい効果があるのか。（山田委員）
- ・ 商工会議所も協力した「梶バル」では、ネットを通じて若い人が集まった。（影山委員）
- ・ 商工会議所、青年会議所、ロータリークラブ、ライオンズクラブ、タウンニュースなど、若い世代への声かけ先はいくつか考えられる。（田辺委員）

## ■若い世代の声を聞こう

- ・ 20～40代がどんな発想するかを知るのは良いこと。参考になるものが出てくるかもしれない。（黒澤委員）
- ・ 我々はなかなか若い人の立場になって考えられない。若い人に直接話を聞きたい。（川田委員長）
- ・ できれば特に女性を呼んで生の声を聴いてみたい。（影山委員）
- ・ 自治会は若い人とつながりたいと思っても、自らシャットアウトしてしまっている面もありそうだ。（川田委員長）
- ・ 新たな層に声掛けできれば、新たな展開が期待できる。まず委員から直接声をかけられるルートからユニークな取組をしている個人や企業を探してはどうか。（コンサル）

## ■若い世代に聞きたいこと

- ・ どんな人を集めるのか、何を聞きたいのかイメージを固めたい。（田辺委員）
- ・ テーマを決め、何を聞くのか決めないといけな。集まっても何を話せば良いかわからなくなるとは困る。（佐藤部会長・山部委員）
- ・ まず現役の人を集め、「地域の活性化」について聞いてみてはどうか。若い人達がやっていることや、できること。どうやって地域と繋がりたいかなど。（川田委員長）
- ・ 若い世代が地域を、地域とのつながりをどう考えているのか聞きたい。（大木委員）
- ・ 普通の若い人は「地域なんかどうでもいい」と思っているのではない。何か魅力的なものがないと参加してこないと思う。（田辺委員）
- ・ いきなり「地域参加」について聞いても警戒されるだけではないか。（コンサル）
- ・ 「若い人が考える地域の課題を聞いてみよう」ということならいい。逆に我々の方で勝手に課題を設定して上から目線で臨んでも上手くいかないのではないか。（田辺委員）
- ・ 例えば地域での「お友達づくり」「お仕事づくり」くらいのところから入る。または若い女性を集めて「女性の地域での活躍」について聞いてみる。（コンサル）
- ・ アンケート調査をしてはどうか。産業振興や多世代交流、宮前区の課題など5項目程度設定して尋ねる。町内会・自治会等、地域を絞って行う。（黒澤委員）
- ・ ある課題について数量的に調べるのがアンケート。課題設定無しでいきなりアンケート項目を作ろうとしても良いものはできない。（影山委員）
- ・ 地域との関わり、地域への還元を本質にもっていないとダメだ。若い世代がどう地域に

貢献できるか。それを妨げている物は何かが鍵ではないか。(影山委員)

- ・ 意見を伺う際に、少し先を想定しておかなければ、本質からずれていってしまう恐れがある。仮説を立てておけば、質問したいことも自ずと決まってくる。(影山委員)

## ■フォーラムに向けて

- ・ まずはフォーラムで若い人たちの意見を聞いてみてはどうか。(佐藤・川田・影山委員)
- ・ 例えば、「地域での女性の活躍」「クラフト市」を仮にテーマとして設定してはどうか。企業人というより、個人で作品を作っているひと、人になにか教えられる人を「お友達づくり」「お仕事づくり」という観点から集めて話を聞いてみる。(コンサル)
- ・ フォーラムでは、ものづくりしている人、人になにか教えられる人を中心とした交流会、意見交換を行うこととしてはどうか。(佐藤部会長)
- ・ 「お友達づくり」「お仕事づくり」をサブテーマに据えれば、一步踏み込んだ内容になりそうだ。(影山委員)
- ・ 呼びかけの際に「お友達づくり」「お仕事づくり」というネーミングはとても良いと思う。子育て中で働けない女性などにも響くだろう。(川田委員長)
- ・ 「お友達づくり」というワードは抽象的で、若い人にはあまりピンと来ないかもしれない。(老門委員)
- ・ 保育スペースなども確保し、小さい子どもがいる人も積極的に参加できるようにしたい。(川田委員長)
- ・ まち協で同様の取組があるのではないか。(黒澤委員)
- ・ テーマはどうしても似通ってくる所はあるが、「お仕事につなげていく」という事に特にターゲットを絞れば、区民会議独自の方向性になる。(川田委員長・田辺委員)

## まとめ

- ☆ お仕事紹介を大目標にしつつもその色は強くは出さず、「お友達づくり」「お仕事づくり」をテーマに、埋もれた才能を持っている人たちを集めて意見交換・交流会を行うことをまず目指す。
- ☆ 女性を特に意識して集める。(男性も可)。
- ☆ ゆくゆくは個人のスキルを活かした「クラフト市的な場」の開催も目指す。
- ☆ 次回(2月)部会までに、フォーラムに呼べる人を各自目星を付けておく。
- ☆ 事務局を中心にチラシのたたき台等も進める。

(以上)